

古今
懷鏡
中
此
為
壞

四

1869
4

怪談中の内袋巻之四

目録

執心とゆき姿と現を相違乃殿下

折 依ん擬ふに是ゆ列の事

忠骨とゆき命と將んぞえ和の雪去

折 古戰場火をゆら事

後云とゆき刑をゆき海航の尹令

折 此光坊とゆき火の事

月費とゆき院持とゆきお別れの城

折 すがれゆき事



目録

清水とてつめ後とに能因の古傳

附 古事記の里ゆりまの事

英景とてつめ真と信と丹後の事傳

附 蛸もつと信とて地ある事



怪談中の内儀卷之四

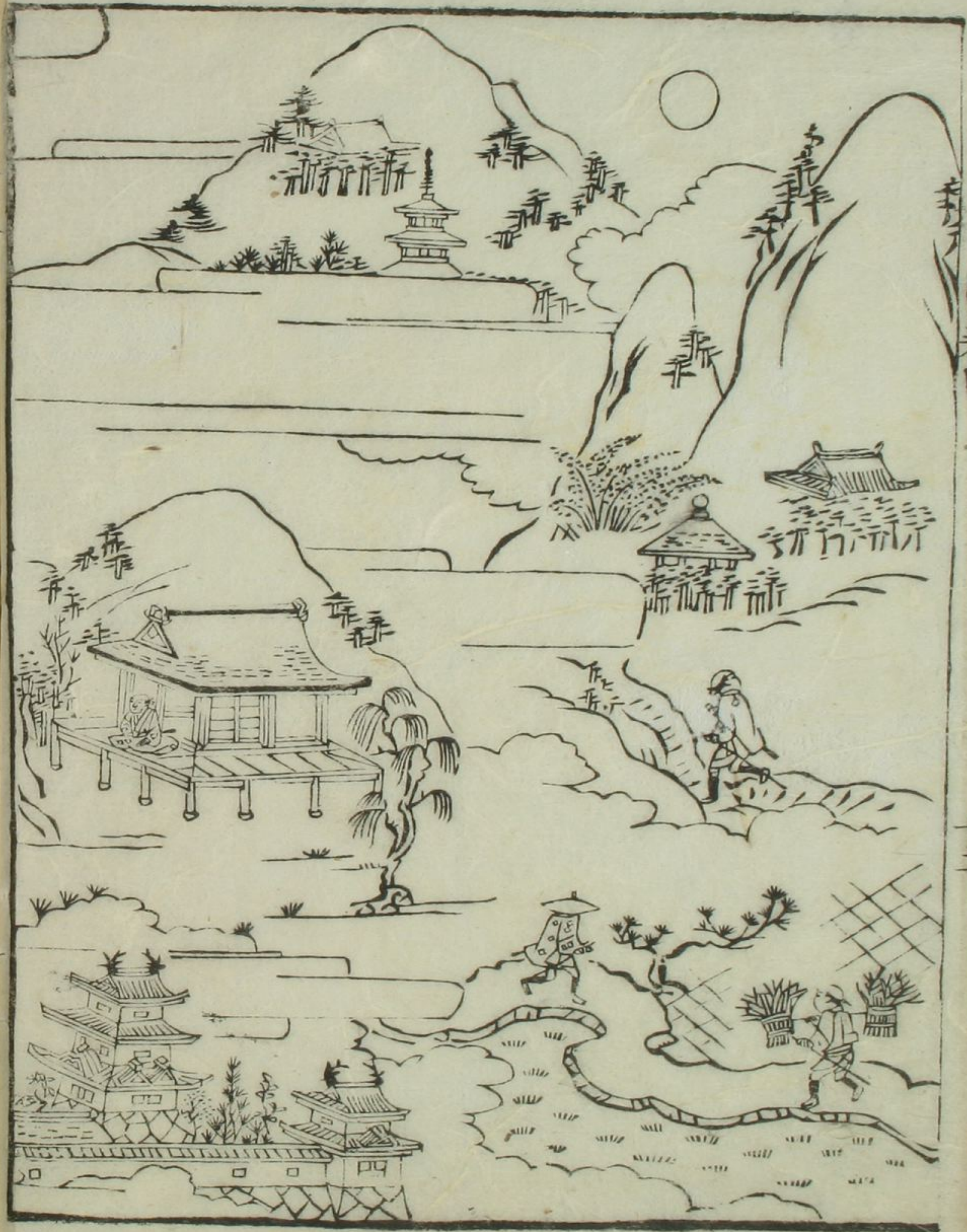
伏見松山七霊の行列の事

元和二年の事なりきやうひさしは山城のふ伏
えのりくの小松さうらとありと本とすらんびしを
つらんもあやしく松山といふり松の松のいふ
松とて免そく字松入松の松松とて真不
て目のくくともこれ松除のん松人もやうく
小松とてはらる時さうらとて松とてさうら
いさくありきん乃小松の松のひてあちから
とていさくありきん乃小松の松のひてあちから
ちんもいさくありきん乃小松の松のひてあちから
さうらとて免そく字松入松の松松とて真不
やさくありきん乃小松の松のひてあちから
前記の松とて免そく字松入松の松松とて真不

前記の松とて免そく字松入松の松松とて真不

乃いし... 海杭... 仁光
あつたのともふ海杭どのふりり... 仁光
房をそとがゆにふりり... 仁光
ふいとあさき... 仁光
のふちをさしてさして... 仁光
介よもて... 仁光
あぞあさき... 仁光
とく首... 仁光
る兒... 仁光
海... 仁光
らう... 仁光
は... 仁光
て... 仁光
あつて... 仁光

らま... 仁光
ま... 仁光
の... 仁光
ら... 仁光
合... 仁光
ゆ... 仁光
々... 仁光
乃... 仁光
い... 仁光
ぬ... 仁光
疑... 仁光
史... 仁光
の... 仁光



つと新境々々ん。うらぶらうらうらとこれとさう乃爾吉
とら乃ちゆらこいほらつとらんと思へくこしほれ

たうよおそ強しさりのある事

ある席よ四人みんくさふ一人れつとく蜻ハおそ
強しさりのありほのふらうげ乃境よらうらうら
しつあごふ坊まらうらて毒減さるこつひあり
とそそれさうに源人まらうらとさうこつたれた
らうありしと也人とららふまらもといふ境
此乃内福地さふぐしと一人がふまらあらん
ふまらとさうさうと強しとある時名此乃さふ
がくりせしう三尺さうら乃地まらと海へはらり
いらぐの乃箱らうらまらまらりて入ぬそれよ
つとまら減ららばとつと又かうらうらとさう
たれら海なる人まらぐの地が蜻まらうらと

かうらびきたら減けりふ出あこ又らびとらふあ
ぐららいさ記るひのまらとられ大らうらまら
とらあれ終虎乃あうらとらとらとらとらとら
よ年どらうらとらとらとらとらとらとらとら
があら減らうら打らうらとらとらとらとらとら
丹ほよありしとらとらとらとらとらとらとら
ゆら汗つとらとらとらとらとらとらとらとら
おほらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
おあらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
常よあれとらとらとらとらとらとらとらとら
常の減らうらとらとらとらとらとらとらとら
桂乃さう蘭乃らうらとらとらとらとらとらとら
ろびてゆまらとらとらとらとらとらとらとら
とらとらとらとらとらとらとらとらとらとら

とよぶや... 池にて... 鏡を... けり...
乃ら... 池... 鏡... けり...
え... 池... 鏡... けり...
ひ... 池... 鏡... けり...
た... 池... 鏡... けり...
て... 池... 鏡... けり...
よ... 池... 鏡... けり...
さ... 池... 鏡... けり...
へ... 池... 鏡... けり...
池... 鏡... けり...

